

保護者の皆様

四国中央市立三島西中学校 校長 妻島 哲朗

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のことと存じます。平素は、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝しております。

さて、本年度5月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。

本校では、この分析結果を参考に、授業改善に尽力する所存であります。この調査は、学力の一部であることや、生活習慣・学習習慣も含めて改善していくための一つの手がかりとすることを御理解いただき、御家庭においても、学校で取り組んでいる家庭学習や睡眠、朝食などの習慣付けについて、引き続き御協力を賜りますようお願いいたします。

### 《本校の結果についての分析》

#### ○ 国語

「漢字の読み書き」等、「言語についての知識・理解・技能」を問う問題の正答率が全体的に高く、基礎的な言語の力が身に付いています。また「国語の授業で学習したことは、将来社会で役に立つと思う」「目的に応じて質問したりしている・自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている」という回答が全国平均を上回っており、学習の意義を踏まえて意欲的に取り組む意識を持つ生徒が多いことが分かります。しかし、「国語の勉強は好きですか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合や、「読む能力」を問う問題、適切な「敬語」を選択する問題の正答率が全国平均を下回っており、課題があります。国語の魅力伝える授業づくりに努めるとともに、家庭での読書時間の確保、日常会話における言葉遣いの指導を大切にしていきたいと思えます。

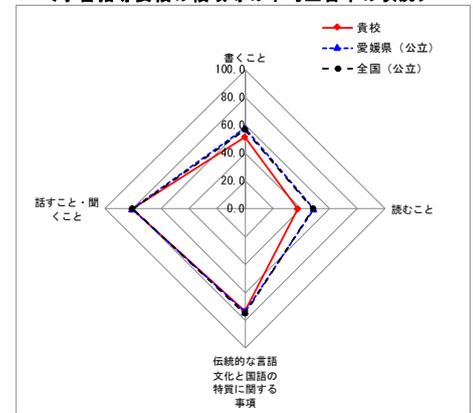
#### ○ 数学

「数と式」の領域では、高い正答率で計算力が身に付いていることが分かります。具体的な場面から方程式を立てる問題の正答率も高くなっています。「関数」領域では、グラフの読み取りなどは愛媛県平均や全国平均と同等ですが、事象を数学的に分析して説明する問題などに課題が残ります。「図形」領域では基本的な図形の性質などの理解は進んでいますが、その性質を用いて説明するなどの表現力を高めていく必要があります。今後は、関数・図形領域の復習をくりかえり行うとともに、学習の中で数学的な言語活動を積極的に取り入れ、適切に説明できる力を養っていきたいと考えています。また、基礎・基本の定着が図れるよう、クロムブックを活用するなど、計算練習などの機会や学び合い学習を充実させたいと思えます。

#### ○ 生徒質問紙

「友達と協力することが楽しい」「話合いを通して学級をよりよくしたい」「学級の話合いを生かして自分の努力すべきことを決めて取り組む」などのポイントが全国平均より高く、自己有用感を強く感じている生徒が多いです。また、「ICT機器の活用が学習に役立つ」と考えている生徒が多く、より一層学校でタブレットを活用した授業づくりに努めていきたいと考えています。しかし、「家で計画を立てて学習をしているか」という問いに肯定的な回答をしている生徒の割合が全国平均を下回っており、家庭学習の取組みに課題があります。家庭学習は宿題のみの学習ではなく、家庭学習で行う内容を各教科の授業内容を振り返り、ノートにまとめるなど、自主的、計画的に設定し、実行していくことも必要であると考えます。御家庭での御協力をお願いいたします。

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞

